

# 令和6年度 第1回 Faculty Development「新任・昇任教員向け研修」開催報告

## 1. 講師およびテーマ

講師：福島県立医科大学医療人育成・支援センター 教授 亀岡弥生

テーマ：①講義：福島県立医科大学医学部教員として知っておかなければならない知識  
②事例検討：学習評価のブループリント作成

## 2. 開催目的

- ①高等教育機関の教員としての意識を高める。
- ②本学の教育理念、ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーについて理解する。
- ③事例検討（出席確認の意義）を通して、教員間で意見交換を行う。
- ④成人学習理論、教育研究についての知見を得る。

## 3. タイム・テーブル

		時間	講師	内容
2	開会	17:00		開会の挨拶
3	講演 I	17:05	亀岡弥生	本学の教育理念、ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーについて
4	GW	17:20		学習評価のブループリント作成
5	講演 II	18:10	亀岡弥生	医学部教員の年間予定(チュートリアル、OSCE、FD 等)
6	閉会	18:30		事後アンケート

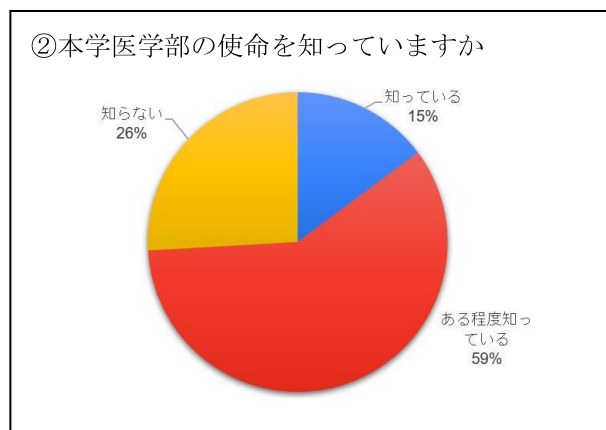
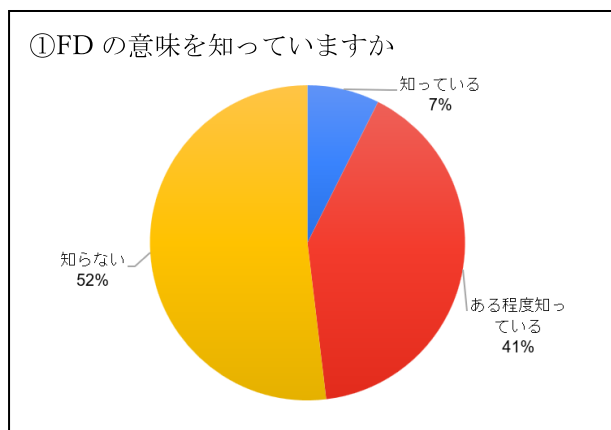
## 4. 日時と場所

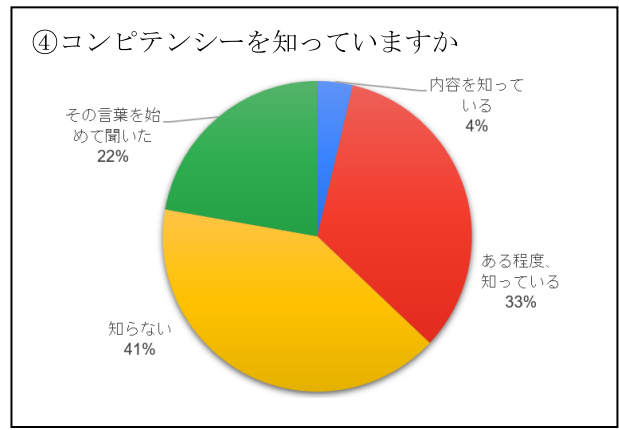
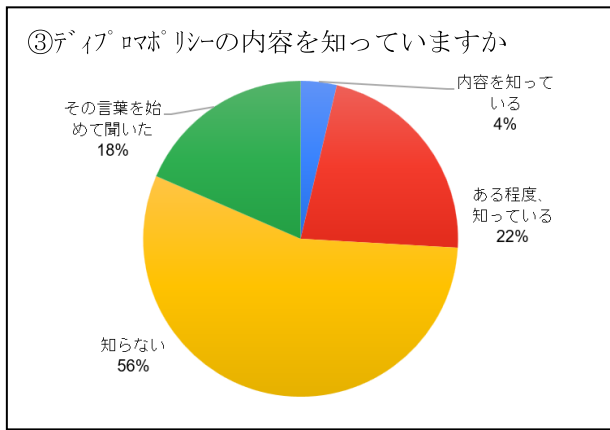
令和6年4月26日(木) 17:00-18:30 7号館大会議室 (参加者20名)

令和6年4月27日(金) 17:00-18:30 7号館大会議室 (参加者11名)

## 5. 事前アンケート結果

講習会の参加者は31名であった。令和5年度新任・昇任教員研修では、最初に本学の教員として知っておかなければならない知識として、本学の教育理念、ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーについての講義を行った。講義に先立ち、出席者にアンケートを実施し、講義を聞く前のそれぞれの認識について確認した。



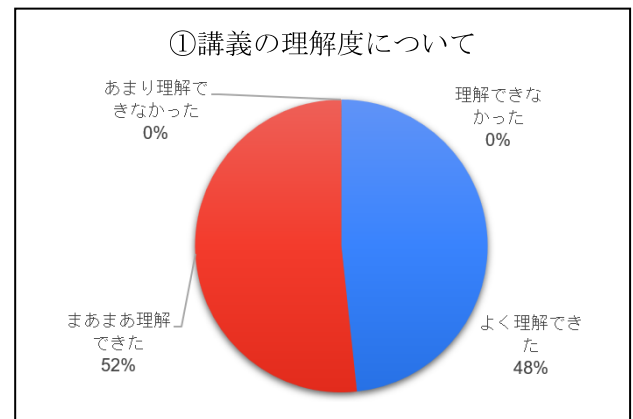


FDの意味については参加者の半分が知らなかった。本学医学部の使命について「知っている」「ある程度、知っている」を選択した参加者は約74%であった。ディプロマ・ポリシーについては知らない参加者が74%、コンピテンシーについては63%が知らないと答えているため、医学部教員として必須の知識である本講義内容について、更なる周知が必要であると考えられる。

## 6. 事後アンケート結果

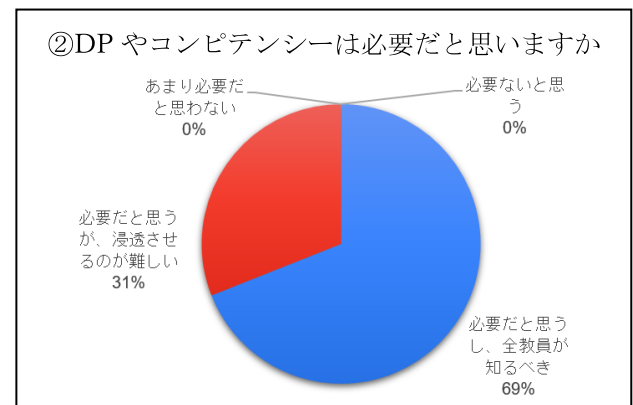
### ① 講義の理解度について

事後アンケートとして、講義およびディスカッションに関する理解度を聴取した。講義については理解度が高かった。



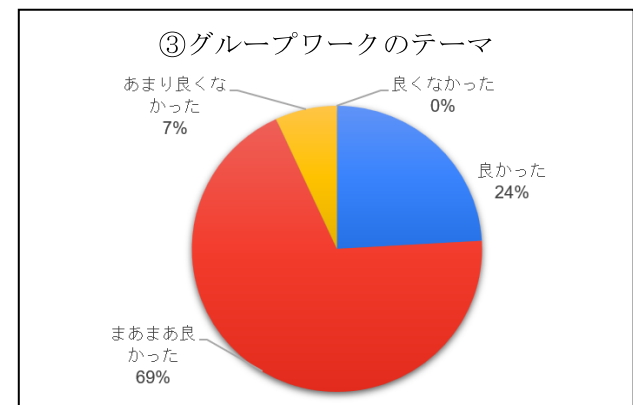
### ②ディプロマ・ポリシーやコンピテンシーは必要だと思いますか

受講者全員が必要だと考えていた。全員が知るべきという意見が多かったが、浸透させるのが難しいという意見も見られた。



### ③グループワークのテーマについて

「学習評価のブループリントを作ろう」をテーマとしてディスカッションを行った。テーマに対する評価としては、満足度が高かった。



## 6. 自由意見

- 評価の基準が曖昧ではない。より数値化されていたり、具体的であるべき。
- 医学教育が進歩していて驚いた。
- 医学部出身では無いため中々議論に入りにくかったが議論のレベルが高く聞いて面白かった。